

**事業名** ~最新技術との融合！多様な働き方の創出にチャレンジ~  
**新たな障害者就労機会を創出します！**

<b>ここがポイント</b>	◆分身ロボットを活用した新たな働き方を支援します。 ◆障害特性により長い時間働くことが難しい方のための超短時間就労を促進します。	<b>予算額</b>	570万円
		<b>区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 臨時( <input type="checkbox"/> 新規・ <input type="checkbox"/> 継続) <input type="checkbox"/> レベルアップ

区は、障害にかかわらず誰もが自分らしくいきいきと暮らし続けることができる地域共生社会を一層推進していくため、就労を希望する障害者の障害特性に応じた多様な働き方を支援します。  
これまで意欲があっても障害特性により就労に結びつかなかった障害者の就労機会を新たに創出するため、自宅からでも就労できる分身ロボットの活用を実証的に実施するとともに、長時間就労が難しい障害者のための超短時間就労(週20時間未満)を促進します。

### 分身ロボットを活用した働き方の推進

**■対象** 重度の身体障害などにより、働くことが難しい障害者  
**■内容** 自宅から操作できる分身ロボットによる商品案内等の実証実験  
**■実施場所** 区役所1階福祉売店「はなみずき」  
**■実施時期** 令和3年7月～9月、令和4年2月の月曜～金曜(2h/1日)  
 ※障害者の方の体調により、変更することもあります。

運用イメージ

### 超短時間就労(週20時間未満)の促進

**■対象** 発達障害や精神障害により長い時間働くことが難しい障害者  
**■開始時期** 令和3年4月(予定)  
**■内容**

- ① 区が委託するコーディネーターが企業等に連絡の上訪問し、超短時間就労に適した仕事や必要な勤務条件を整理します。
- ② 就労を希望する障害者の方に、本人の意向や障害特性に合わせ、超短時間就労に適した仕事をマッチングさせ、就労に結びつけます。
- ③ 就労後も、安定して働けるよう、職場や生活の支援を継続します。

**■協力機関**  
 東京大学先端科学技術研究センター  
 障害者と企業のマッチングを支援するコーディネーター  
 就労支援センター(みなと障がい者福祉事業団)

業務イメージ

**問合せ**

課長	障害者福祉課 小笹
☎	03-3578-2385(直通)
係長	障害者福祉課 障害者支援係 坪井
☎	03-3578-2462(直通)